

別紙2 参考様式

現在の人・農地プランの区域の全部又は一部の区域であって既に実質化していると判断する地区

対象地区名	範囲	区域内農地面積(ha)	近い将来の農地の受け手①		近い将来の農地の出し手②		①及び②の面積合計(ha)	備考
			中心経営体数	現状の経営面積合計(ha)	農業者数	貸付等予定面積合計(ha)		
北洞地区	高橋集落、共栄集落、横旗集落、池の平集落	38	3	2.1	30	5.0	7.1	
中央地区	中央集落	6	1	0.1	12	0.7	0.8	
東洞地区	黒地集落、向黒地集落、莧野集落、小戸名集落	44	1	1.1	34	8.9	10	
南洞地区	田島集落、新井集落、桧原集落	27	1	3.3	26	5.4	8.7	受け手の後継者の確保状況等により経営の継続性を確認済み
西洞地区	小析集落、平集落、月瀬二組集落	19	2	1.0	15	1.4	2.4	

---

注1:1集落1農場を実現しているような区域においては、区域の受け手の事業が将来にわたって安定的に継続される見込みを後継者の確保状況等により確認し、確認した旨を「備考」欄に記載します。

注2:「範囲」を集落名等により特定できない場合には、地図等を用いて特定することができます。

注3:「近い将来の農地の受け手」の「現状の経営面積合計(ha)」には、対象地区内における中心経営体の現状の経営面積の合計を記載してください。